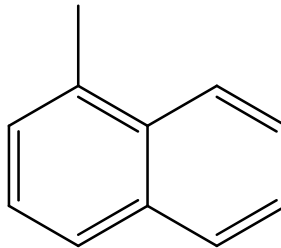


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	4-80	CAS No.	90-12-0
名称 構造式等	名 称：1 - メチルナフタレン 別 名：1-Methylnaphthalene Naphthalene, 1-methyl- 分子量：142.20 分子式：C ₁₁ H ₁₀ 構造式： <div></div>		
外観	ほとんど無色透明液体		
溶解度	水に不溶(25.8 mg/L), アルコール, ベンゼン, エーテルに可溶		
分解性	難分解性 (経済産業公報 平成 16 年 11 月 15 日公表)		
蓄積性	低濃縮性 (経済産業公報 平成 17 年 12 月 22 日公表)		
純度	97.2 %		
用量設定 試験	投与用量	0, 10, 100, 500, 1000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1000：死亡(3/3, 1/3) 500：RBC (傾向)・Hgb (傾向)・Hct (傾向)・T-Chol (), AST ・ALT (), 肝臓 g・% () 100：副腎 g・% ()	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット, 投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：オリブ油	
	投与用量	0, 10, 50, 250 mg/kg/day, 回復群 0, 250 mg/kg/day (R250)	
	投与期間	42 日間, 41-45 日間 (哺育 4 日まで)	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	影響なし	
	行動機能 観察	影響なし	
	体重	影響なし	
	摂餌量	影響なし	
	尿	影響なし	
	血液学	影響なし	
	生化学	影響なし	
	臓器重量	：肝臓 g・% (250) ：肝臓% (250, R250)	
	病理組織	影響なし	
	標的臓器	肝臓	
生殖発生 毒性 主な結果	親動物	影響なし	
	児動物	影響なし	

NOAEL		反復投与毒性： 250, 250 生殖発生毒性：250*
	推定根拠	反復投与毒性 毒性影響なし 生殖発生毒性 毒性影響なし*
NOEL		反復投与毒性： 50, 50 生殖発生毒性：250
	推定根拠	反復投与毒性 250：肝臓 g・% 250：肝臓% 生殖発生毒性 影響なし*
備考	*：全腹児死亡例が 250 mg/kg/day 群で 1 例、10 mg/kg/day 群で 2 例、対照群で 1 例で認められた。従って厳密な判断は必ずしも出来ない。	

本データは，平成 21 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。